

報道関係者各位

2024年6月10日 配信 No.2023-8
立命館アジア太平洋大学 (APU)

APUの初代 高校生・在校生特命副学長・サミットメンバー就任 これまでの大学のガバナンスにいなかった属性のステークホルダーと 新しい大学・教育の未来を作り上げる 新体制スタート

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山裕、APU）は、6月8日（土）東京ミッドタウン八重洲にて、特命副学長に若狭留名（わかさ るな）、ジャハ・アシュミが就任し、併せて特命副学長を支える8名のサミットメンバーが就任したことを発表しました。



「ないものはつくればいい。大学はもっとおもしろくなる。」未来の教育の課題を提言するだけでなく、解決したいという強い意志とAPU や大学を通して世の中にプラスのインパクトを起こしたいと願いをもつ約160名の応募者の中から選ばれた、それぞれ5名ずつの高校生と在校生が、大学の課題抽出やビジョン形成に特化した職務を遂行していきます。

ユニークな発想と視点に基づいて、自らが当事者として意見し提言を行い、新しい政策を立案、実行に取り組んでまいります。これまでガバナンスになかった属性のステークホルダーを積極的に迎え入れ、新たな改革の視点と推進力を生み出すことを期待しています。



高校生 特命副学長 若狭留名（わかさ るな）

私が考える理想のチーム像は、一人で突っ走るリーダーを持つのではなく全員がリーダーとなって意見を出し合うクリエイティブなチームです。この素敵な仲間とともに、みんなが歯車となって活躍できるようにしたいと思います。

私たちはそれぞれ自分たちの世界を形作り、新しいことを生み出す才能があると信じています。そして今日ここに集まったみんなでグローバルのその向こう「Leap Beyond Global」を目指します。



在校生 特命副学長 ジャハ・アシュミ

今日この日を迎え、「千里の道も一歩から」大きな成果は小さな一歩から始まるという日本のことわざを習ったことを、思い出しました。協力・共創・共生の価値が念頭に置かれるこの取り組みは、大きな成果への第一歩だと思います。

ここにいる皆で、私たち自身の手で誇れる未来を作っていきましょう。協力し、知識とイノベーションで、もっと先へ進みます。和（ハーモニー）をもって、多様な価値観や違いを受け入れ包含しながら、APUがビジョンや情熱をもってコミットし、社会をより良く変えていく象徴として成長していくよう取り組んでいきます。

特命副学長制度について、また特命副学長・サミットメンバーのプロフィールは、3枚目以降の資料をご覧ください。

就任発表当日は、特命副学長、サミットメンバーが初めて顔を合わせ、チームビルディングの一環として、「私たちは1年後、これを成し遂げたい」をテーマにそれぞれディスカッションセッションを行い、発表会出席者に向けて、プレゼンテーションを行いました。

高校生特命副学長・サミットメンバーは、1年後のチームのありたい姿を発表。「1時間という短時間の中で、議論はまとまりづらかったが、自分たちがやりたいことがそんなに簡単にまとまるとも考えていない。1年間かけて対話して、ただAPUを変えるだけでなく、その先にあるよりよい社会をつくりたい。私たちがAPUをこえて世界を変える」と語り、チームの活動方針を固めました。

一方、在校生特命副学長・サミットメンバーは、APUの1年後のビジョンを発表し、APUが果たすべき社会的責任について言及しました。「学内の研究カルチャーを根付かせ、これまでのAPUの多国籍という平面的な多様性加えて、年齢を超えたあらゆる世代とかわる立体的な多様性を増やす施策を打ち出したい。APUに関わる全ての人と世界を変えたい」と強い意志を表明しました。



出席者に向けて特命副学長制度の説明をする学長の米山裕



テーマについて議論する在校生副学長（写真中）とサミットメンバー



テーマについて議論し、発表内容をまとめる
高校生副学長（左から2番目）とサミットメンバー



発表の順番や、流れを一緒に確認する特命副学長とサミットメンバー

特命副学長制度 概要

立命館アジア太平洋大学では、2024年1月1日に第5代学長に就任した米山 裕（よねやま ひろし）学長が、2024年より展開する新たなプラン「Leap Beyond Global」を実現する取り組みの一環として、「特命副学長制度」を導入しました。

特命副学長として、大学の課題抽出とビジョン形成に特化した職務を遂行する高校生1名、在校生1名の合計2名を任命し、これまでになかった属性のステーク・ホルダーを、大学のガバナンスに積極的に迎え入れることで、新たな改革の視点と推進力が生まれることを目指します。

多様な意見・提言をしながら、自らが当事者として大学と共にそれらの実現に真摯に取り組むこと、そしてこれまでにないユニークな発想で政策を立案し実行していくことを期待しています。

特命副学長募集概要については、以下の通りです。

高校生特命副学長、およびサミットメンバー概要

募集人員	高校生特命副学長 1名 サミットメンバー（高校生特命副学長を支え、共に活動するメンバー）若干名
対象	2024年4月時点で日本国内在住の高校1年生または2年生
求める人物像	大学教育の未来のために課題を提言するだけでなく、解決したいという強い意志があり、未来志向であること APU や大学を通して世の中にプラスのインパクトを起こしたいという意思があること
活動テーマと概要	「学びの未来を考える」 これからの未来の社会を生きる高校生の視点から、「大学」という場所のあるべき姿を考える。10年後、20年後の未来社会をイメージし、今の大学に不足しているもの、追加されるべき要素を明らかにする APUと他大学との比較、または社会や企業におけるニーズ等に基づき、APUがさらに強化すべき点や、APUが今後進むべき方向性について、提言を行う
活動拠点	学校法人立命館の各キャンパス（東京、京都、大阪、滋賀、大分）およびオンライン、必要に応じて、他教育機関やその他機関への往訪見学等も実施
選考方法	一次選考：書類審査および短時間のプレゼンテーション動画を提出 最終選考：一次選考通過者に対して、APU役員による対面、またはオンライン面談を実施
活動期間	2024年6月～2025年3月
スケジュール	高校生特命副学長募集：2024年3月1日午前10時～2024年4月15日午後11時59分 選考期間：2024年5月 活動期間：2024年6月～2025年3月 ※活動開始時を含めて数回のAPUへの往訪を予定 ※日常的な活動は、平日の夜、土日祝日、長期休暇期間を予定
その他条件	活動に対して報酬が発生するため、業務委託契約を締結予定 移動に必要な経費を含む活動費はAPUが負担

特命副学長制度 概要

在校生特命副学長、およびサミットメンバー概要

募集人員	在校生特命副学長 1名 サミットメンバー（在学学生特命副学長を支え、共に活動するメンバー）若干名
対象	応募時点でAPUに在籍する1回生～3回生
求める人物像	APUでの教育の未来のために、課題を提言するだけでなく、解決したいという強い意志があり、未来志向であること APUを通して世の中にプラスのインパクトを起こしたいという意思があること
活動概要 (予定)	学生の声や、APU と他大学との比較、または社会や企業におけるニーズ等に基づき、APUがさらに強化すべき点や、APUが今後進むべき方向性について、提言を行う 学習者にとっての大学とは何か、人生のあらゆるステージにおいて存在する「学び」の中で、大学にもとめる機能とは何か、その上で現在の大学（APU）に整備すべきこと、強化すべきことについて、提言を行う 定期的に大学評議会にて、活動報告及び改善に向けた提言を報告
活動拠点	APUキャンパス（大学内に執務スペースを設置）
選考方法	一次選考：書類審査および短時間のプレゼンテーション動画を提出 最終選考：一次選考通過者に対して、APU役員による対面、またはオンライン面談を実施
活動期間	2024年6月～2025年3月
スケジュール	在校生特命副学長募集：2024年4月（詳細は在校生専用サイトで連絡） 選考：2024年5月 活動期間：2024年6月～2025年3月
応募先URL	活動に対して報酬が発生するため、業務委託契約を締結予定 移動に必要な経費を含む活動費はAPUが負担

特命副学長 これからの動き（想定される予定）

高校生 特命副学長とサミットメンバー

2024年

6月 辞令交付

7月 オープンキャンパスにて年間の取り組み確認

※以後スケジュールについては、特命副学長およびサミットメンバーにより決定します。

2025年

1月 報告会・施策提言など

在校生 特命副学長とサミットメンバー

2024年

6月 辞令交付

以後2週間に一度、キャンパスにてミーティングを実施予定

9月～10月頃 中間発表会

2025年

1月 報告会・施策提言など

【高校生 特命副学長】



若狭留名（わかさ るな）

ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパン（長野県）1年生
人生がつまらない。勉強する意義がわからない。曇りの日は顔を
出さず、暗闇を照らすことのない月のように、私たちに光が射し
ていないときがあるかもしれません。そんな気持ちを抱えている
私たち高校生。私は高校生ですが、特命副学長として大学との架
け橋となる使命を担います。私たちの世代が、未来をカタチ作る
鍵を握ることを自覚し、道なき道を歩いてゆく番だと強く感じま
す。仲間と協力し、私たちにしかない視点から、大学の新たなあ
り方について考え、アクションを起こしていきます！

趣味：ギター・ピアノを弾くこと、書道

特技：人の顔の記憶

【在校生 特命副学長】



JHA Ashmi（ジャハ アシュミ）

国際経営学部 2回生（インド）

この新しい取り組みを進めるにあたり、まずはAPUの一員とし
て、世界を形作るすべてのステークホルダーを巻き込んだ活動
にしていきたいと考えています。特命副学長として、私は協働、
共創、共存のキーワードを浸透させていきたいと考えています。
今後、AIと技術革新の分野でも、重要なノウハウを学び、それ
を適切に活用することで、遅れを取り戻しリードしていかなけれ
ばなりません。グローバルコミュニティとして、私たちが未
来のリーダーやグローバル市民として世界を形作っていくため
には、共に学び、学び直し、再学習していく必要があります。
「私」から「あなた」、そして「私たち」へと成長し、この世
界を私たちのものにしましょう。

趣味：読書

特技：テコンドー（黒帯保持）



阿部 七海 (あべ ななみ) 私立N高等学校 2年生

サミットメンバーとしての活動が始まることにワクワクしています。APU初の取り組みということで少し不安はありますが、それも忘れてしまうくらい愉快で楽しい1年にしたいと思っています。

何よりもAPUがより良くなるために、同時に社会全体をより良いものにするために、精一杯頑張りたいと思います

趣味・特技

趣味：音楽を聴くこと (K-POPと洋楽が好き) 特技：文章を書くこと



石川 紗羽 (いしかわ さわ) 宮崎県立飯野高等学校 2年生

今回、サミットメンバーという大きな役割を任せられ少しの不安もありますが、それ以上に期待と楽しみで胸がいっぱいです!! 「学校」という枠を超え、多くの出会いや経験ができることを本当に楽しみにしています。

学びの未来について深く考え、自分の中の価値観をアップデートし将来に繋げていきたいです。困難な壁にぶつかることもあるかと思いますが、特命副学長や他のサミットメンバーと協力し、日本だけではなく世界各国から注目されるチームになりたいです。今回の経験を通して、社会に合わせていくのではなく社会を変え、影響を与えていける人になりたいと思っています。

趣味・特技

絵を描くこと、寮の仲間と自転車に乗って遊びに行くこと、ウクレレでとなりのトトロを弾くことができること



伊藤 凜 (いとう りん) 私立横浜雙葉高等学校 1年生

この度はこのような大きなプロジェクトに参加させていただき大変光栄です。この活動を通して世の中に少しでも新しいインパクトを生み出したいという気持ちで、精一杯活動に携わっていきたくて思っております。サミットメンバーとして特命副学長を支える役割と、その中で自分のできることを探していくという2点を両立させることが大切になると考えております。初めての挑戦ですが、この経験を通じて多くのことを学び成長していきたいです。

趣味・特技 ダンス



林 樟太朗 (はやし しょうたろう) 滋賀県立 膳所高校 2年生

はじめまして!この度、サミットメンバーとして活動させていただくこととなりました、滋賀県に住む高校2年の林樟太朗です。

好きなことは対話することです!チーム内で対話をおこすことはもちろん、APUに、そして日本の課題山積みな「教育」に対話を巻き起こすような存在でありたいと考えています。

これから10ヶ月間、自分にできることを、みなさんとの対話によって考え、葛藤しながら精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願ひします!

趣味・特技

ボート、ギター、いつでもどこでも3秒で寝れること



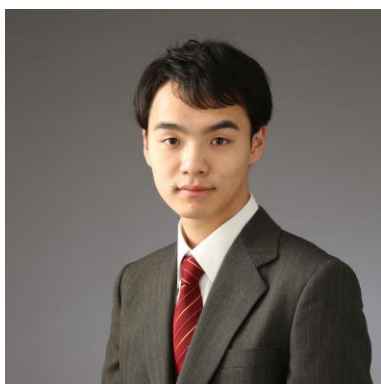
木須 さくら (きす さくら) サステナビリティ観光学部 1回生

私の夢は、教育を通じ、多くの子どもたちが幸せを感じることでできる社会を構築することです。現在、日本の教育は批判的な意見が多く寄せられています。しかし、私は一方的な理想だけの提案ではなく、それぞれの立場の垣根を越えた議論を重ね、より具体的な提言を行っていきたいです。そして、対話を通じて互いを認め合い、共創できる環境を目指して活動して参ります。

趣味・特技

趣味：人とお話しすること・人間観察

特技：自分を表現すること・人の魅力を伝えること



水野 重春 (みずの しげはる) 国際経営学部 3回生

サミットメンバーとしてAPUのさらなる発展に尽力する所存です。企業連携やAPハウスなどの既存の施設を活かした学生の教育環境充実、国籍だけでなく、年齢の多様性も重視し、ライフロングラーニング制度の導入など、より立体的な多様性の実現を目指します。APUの教育の質向上に貢献できればと意気込んでおります。

趣味・特技

バイオリン演奏、企業の財務文書、旅行、様々な多国籍の友達と交流



SAIF Sherif Aly Mostafa Mohamed

(サイフシェリフアリーモスタファモハメド) 国際経営学部 1回生

私はAPUのミッション「Shape your world」を信じています。サミットメンバーとしての私の目標は、APUがその使命を果たせるよう尽力することです。例えば学生が必要なことを発言できる場やネットワークを広げられる環境など、多くのアクションが含まれます。また、APUで文化交流を促進したいと考えており、本活動を通じてより良い学術環境、ライフスタイルの提供を目指します。

趣味・特技

物語を語ること、グラフィック デザイン、ディベート、映画製作



SHAIKH Zujajah (シェーク ズジャジャ) 国際経営学部 2回生

サミットメンバーとして、私は教育と社会のニーズの変化に柔軟に対応したAPUの未来を思い描いています。そのために、革新的な政策を開発、外部の組織と強力なパートナーシップを築くことを目指します。また、高校生副学長やサミットメンバーと協力し、アイデアや戦略などの意見交換にも力を入れます。最終的には、APUの成長に貢献し、協力的で先進的な環境を作り上げることが目標です。

趣味・特技

詩を書くこと、小説を読むこと（犯罪小説・ディストピア小説）、料理、カフェ巡り、散歩